

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和2年10月21日
発信課	文化振興課
担当者	諸戸
連絡先	電話 内線 8-6324
	FAX 0166-25-8210
	E-mail

分類	<input checked="" type="radio"/> イベント・行事 <input type="radio"/> 募集 <input type="radio"/> 契約・入札 <input type="radio"/> 会議・説明会 <input type="radio"/> その他 (該当する分類を囲むこと。)
日程	令和2年10月31日(土曜日)～令和3年1月31日(日曜日)
発表項目 (行事名)	第2回企画展 「井上靖 人と文学XI—『幼き日のこと』を巡って」
概要 (趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。)	第2回企画展 「井上靖 人と文学XI—『幼き日のこと』を巡って」を開催します。 市民への周知を図るため、取材及び報道についてよろしくお願い申し上げます。 期 間 令和2年10月31日(土曜日)から令和3年1月31日(日曜日)まで 場 所 井上靖記念館(旭川市春光5条7丁目) 休館日 毎週月曜日、ただし月曜日が祝日の場合は翌日(6月から9月は無休) 開館時間 午前9時から午後5時まで(入館は4時30分まで) 展示内容 昭和47年9月から48年1月まで112回にわたり毎日新聞夕刊に連載された「幼き日のこと」を取り上げ、この自伝的小説の自筆原稿、構想メモ、創作ノート等を展示し、描かれた幼少時代を探ります。さらに井上ふみ夫人の随筆集『やがて芽をふく』も幼少期の回想を描いた作品として自筆原稿と共に展示します。
添付資料	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 企画展チラシ
報道(取材)に当たってのお願い	その他詳細については、井上靖記念館にお問合せください。 電話 51-1188 FAX 52-1740 担当 上田
備考	

令和2年度 第2回企画展

井上靖 人と文学 XI

— 「幼き日のこと」 を巡って

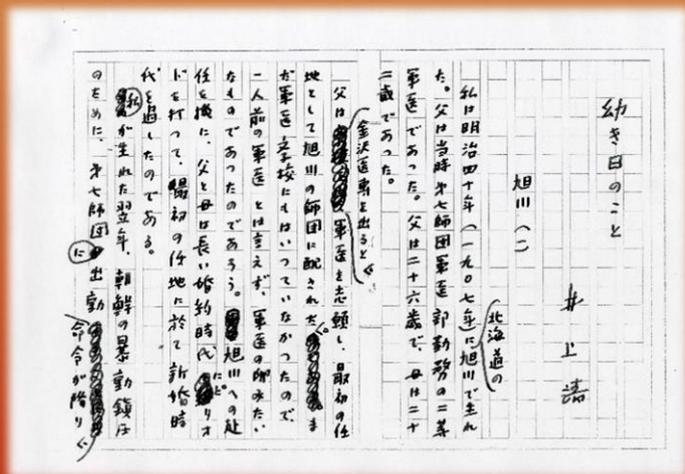
毎日新聞夕刊に連載された自伝的小説「幼き日のこと」を取り上げ、構想メモ、ノート、自筆原稿とともに井上書き残しておきたかった幼少時代を展示します。

さらに、井上ふみ夫人の随筆集『やがて芽をふく』『旬菜歳時記』には、ふみ夫人が京都で過ごした幼少期が描かれており、夫人の自筆原稿と共に紹介します。

令和2年

令和3年

10月31日(土) ▶ 1月31日(日)



指定管理者 NPO 法人旭川文学資料友の会

井上靖記念館

〒070-0875

北海道旭川市春光5条7丁目

TEL 0166-51-1188 / FAX 0166-52-1740

共催 井上靖記念文化財団

NPO 法人旭川文学資料友の会

休館日 毎週月曜日

ただし月曜日が祝日の場合は翌日
年末年始

開館時間 午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

<http://inoue.abs-tomonokai.jp>

観覧料	井上靖記念館単独券			彫刻美術館共通券	
	個人	団体	パスポート	個人	パスポート
一般	300円	240円	600円	600円	1200円
高校生	150円	120円	300円	350円	700円
中学生以下	無料				



「幼き日のこと」第1回 昭和47年9月11日毎日新聞夕刊



旧湯ヶ島小学校校庭「しろばんば」の像



湯ヶ島 上の家



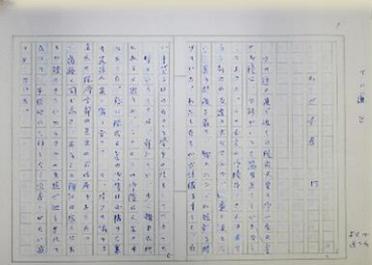
昭和47年 佐渡 外海府にて

2020年度 第2回企画展

井上靖 人と文学 XI

— 「幼き日のこと」を巡って

開催期間 令和2年10月31日(土)～令和3年1月31日(日)
 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 休館日 毎週月曜日
 ただし月曜日が祝日の場合は翌日
 年末年始
 会場 井上靖記念館展示室
 観覧料 常設展示観覧料を含む
 (一般300円 高校生150円 中学生以下 無料)



井上ふみ夫人「やがて芽をふく」原稿

井上靖記念館

北海道旭川市春光5条7丁目

TEL : 0166-51-1188

FAX : 0166-52-1740

【アクセス】

- ◆旭川電気軌道バス (約20分～25分)
 - ・「旭川駅前」バス停発 5・6・522・80番
 - ・「1条通7丁目」バス停発 522・80番
 - ※いずれも「春光園前」バス停下車すぐ。
- ◆タクシー
 - ・旭川駅から約15分～20分
- ◆自家用車
 - ・道央自動車道・旭川鷹栖インターより約10分
 - (駐車場は建物裏にあります)

